

AYAがんの医療と支援の
あり方研究会学術集会
2025年5月24日(土)・5月25日(日)
聖路加国際大学アリスホール

私たちができる
CANCER
SURVIVORSHIP
PROJECT

大会長：桜井 なおみ (一般社団法人CSRプロジェクト)
副大会長：向井 幹夫 (大阪がん循環器病予防センター)
富岡 晶子 (千葉大学大学院看護学研究院)
橋本 久美子 (聖路加国際病院がん相談支援センター)

オフライン 映画上映会

第7回
AYAがんの医療と支援の
あり方研究会学術集会
2025年5月24日(土)・5月25日(日)
聖路加国際大学アリスホール



2025.
5.23 金

19:00~21:00

オンライン開催
(Zoom Webinars)
裏面の留意事項を
必ずご確認ください

参加費無料

申込方法

下記二次元バーコードもしくは
URLよりお申し込みください



https://us02web.zoom.us/join/register/WN_VqpVQLcx46SgMvoRw



主催：第7回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会
共催：アフラック生命保険株式会社
協力：NPO法人がんノート
後援：一般社団法人全国がん患者団体連合会

AYAがん患者の“生きる”を支える
“ケアを紡いで”をみて

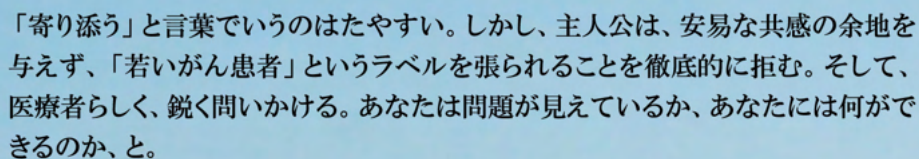
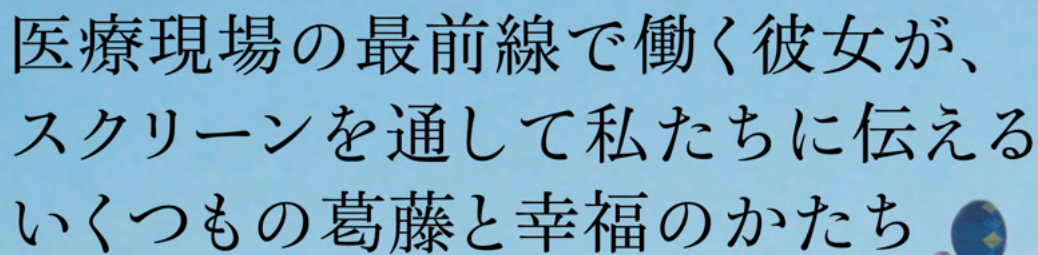
第7回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会 市民公開講座

AYA世代（15～39 歳）のがん患者やその家族にとって、人生の大切な時間を自宅で共に過ごすことは、かけがえのない支えになります。しかし現実には、介護保険の対象外であったり、経済的負担から在宅療養をあきらめざるを得ないケースも少なくありません。近年、一部の自治体では、福祉用具や訪問介護の利用を支援する仕組みも始まっていますが、支援はまだ地域によって差があります。

本市民公開講座では、AYA世代のがん患者とその家族の姿を描いた映画『ケアを紡いで』のオンライン上映と、医療・福祉の専門家や当事者を交えたパネルディスカッションを通じて、「支えるとは何か」を一緒に考えます。

第7回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会
運営事務局：株式会社 MA コンベンションコンサルティング
E-mail: ayaken-cong.7@macc.jp

大会長：桜井 なおみ (一般社団法人 CSR プロジェクト)
副大会長：向井 幹夫 (大阪がん循環器病予防センター)
富岡 晶子 (千葉大学大学院看護学研究院)
橋本 久美子 (聖路加国際病院がん相談支援センター)

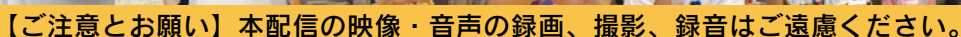


それがきっとありのままの自分を愛する事に繋がると信じているから。

ただただ、映っているものが、とてつもなく愛おしい。

 @care_tsumuide
 fb.com/care.tsumuide
care-tsumuide.com

監督は『ただいま それぞれの居場所』など、現代社会のケアの営みと制度のありようを見つめる大宮浩一。そして、この映画を企画したのは、医療の最前線で働いていたゆずなさん自身です。ゆずなさんは「AYA世代」。AYAとはAdolescent（思春期）& Young Adult（若年成人）の頭文字で、おおむね15歳から39歳のがん患者のこと。就学や就職、出産や育児などに直面し、大きな困難を抱えても、医療費制度と介護保険の谷間で、支えとなる助成制度がほとんどありません。根治が難しい病状を熟知しているゆずなさんが私たちに伝えようとして、たいくつもの葛藤とたしかな幸福のかたちとは？



1. Zoomはインターネットを利用するため、通信環境により映像や音声がかかることがあります。
2. スマートフォンやタブレットをご利用の場合、定額制でない契約では高額な通信料が発生する可能性がありますのでご注意ください。
3. Zoomのアプリインストール等に伴う機器の不具合やトラブルへの補償はできません。
4. Zoomの操作や設定は各自でご対応をお願いいたします。ご不明な点がある場合は事前にご確認ください。

なお、当日の配信直前や配信中の対応は難しいことをご理解ください。